

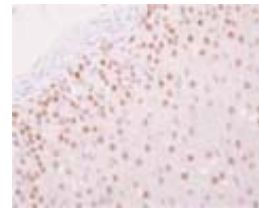
## Anti human SF-1 mouse monoclonal antibody

SF-1: Steroidogenic factor 1

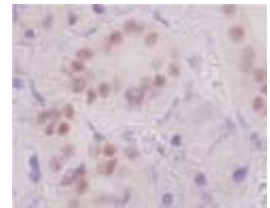
製品コード	PP-N1665-00
Clone No.	N1665
Lot.	A-3
濃度	1mg/mL
容量	100 $\mu$ L
Ig class	G1
Nomenclature	NR5A1
Genbank	U76388
由来	ヒト SF-1(218-461aa) の 大腸菌発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。
特異性	ヒト SF-1 に特異的に反応する。マウスおよびラットSF-1に交差反応する。
精製法	硫酸塩析法
溶媒	生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN <sub>3</sub> 添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot	可 参考使用濃度 3 $\mu$ g/mL
非還元 Western Blot	可 参考使用濃度 3 $\mu$ g/mL
ELISA	可 参考使用濃度 0.1 $\mu$ g/mL(A450=1.0)
免疫沈降	可 参考使用濃度 適宜調製してください
Supershift Assay	未検討 参考使用濃度 -
クロマチン免疫沈降	未検討 参考使用濃度 -
免疫染色	可 参考使用濃度 10 $\mu$ g/mL



ラット  
副腎  
パラフィン切片



ラット  
唾液腺  
パラフィン切片

**保存方法** 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8 $^{\circ}$ Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20 $^{\circ}$ C 以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

**参考文献** Suh JM, *et al.* Mol Endocrinol. 2006; 20(12): 3412-20  
 Qin J, *et al.* Dev Dyn. 2007; 236(3): 810-20

**備考** 溶媒に含まれるNaN<sub>3</sub>は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Dec 17, 2015